

学校生活が楽しいと感じる生徒100%を目指そう！

1. 学びに向かう「心」と「場」を整える

(1)全校で取り組む「自問清掃」 ～めざせ！「きれい」日本一！～

- ◇自問清掃の3つの心
- ・我慢する心 → 【無言清掃】
 - ・周りに感謝する心 → 【感謝の清掃】
 - ・気づきの心 → 【気づき清掃】

◇全校の振り返りの場「自問放送」

アンケートをもとに取り組みを振り返り、全校放送で知らせる



自問清掃から授業開始時のチャイム黙想へと発展

(2)担任の先生と生徒で共有する「学級づくり」

◇教室の前面に「学校教育目標」に加え、担任と生徒が考えた「学級目標」「学習目標」「自問清掃目標」を掲示。

(3)家庭学習強化週間（生徒・家庭・学校が連携した取り組み）

- ◇定期テストの約10日前から、生徒は①就寝時刻②起床時刻
③日ごとの家庭学習開始時刻を決め、チェック表に記入。
担任は毎日点検。家庭では期間の途中とテスト前日に点検。
「励ましのコメント」を記入する。

2. 学びに向かう生徒の「自主的活動」

(1)生徒会活動と学校・教科のコラボ活動

- ①学習委員会+学校＝「授業態度コンクール」
- ・期間中の毎時間、授業後に先生がその時間の授業態度を1～5点で評価し学習委員に伝える。クラス対抗でこの得点の合計を競う。
- ②学習委員会+英語科＝「イングリッシュサロン」
- ・英語科やALTの先生たちとその日のテーマをもとに英語で話す
 - ・学年関係なく誰でも気軽に参加できる

③生活委員会+学校＝「生活態度コンクール」

- ・期間中、「服装点検」、「整理整頓チェック」
「チャイム黙想チェック」の3点を同時に行い、点数を競う。

④保体委員会+学校＝「給食食べ残し0運動」

- ・前の週の食べ残しと期間中の食べ残しの量をチェックし、放送で全校に知らせる。その後、結果はグラフに表し、教室掲示する。

⑤保体委員会+体育科＝「城リンピック」

- ・学年、学級、性別等に関係なくチームを編成して参加できる
- ・参加チームで抽選を行い、昼休みを使って予選・決勝を行う。

(2)地域に広げるボランティア活動（生徒会執行部・環境美化委員会）

①「校内ボランティア清掃」（環境美化委員会）

- ・環境美化委員とボランティアで参加した生徒が学校内や花壇などを昼休みに清掃する。

②「花いっぱい運動」（佐伯小学校との連携・生徒会執行部）

- ・佐伯小学校の5年生が花の苗を育てた苗を生徒会執行部とボランティアで参加した生徒がプランターに植え替え、佐伯市大手前のバスターミナルを中心に、近隣の商店に配布する活動

☆昨年度…1月28日（月）実施

③「歳末助け合い募金」（生徒会執行部）

- ・年末に校内と地域で募金活動を行う
- ・集まった募金は社会福祉協議会に寄付（昨年度は69161円）

(3)生徒一人一人がより身近に学校や生徒会を意識できる取り組み

①全校集会（毎月の月末に実施）

- ・各専門委員会から月の活動の反省と次月の活動内容の確認をする

②意見箱

- ・誰でも気軽に学校や生徒会に意見や要望を言える
→ よい学校づくりにつながる！